

公表

令和6年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達・子育て支援センター なかよしひろば		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年2月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58 (回答者数)	46
○従業者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年2月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域関係機関との連携体制。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の先生からなかよしひろばへ通所されていないお子さんに対して発達段階において相談されたり、日々の送迎時などお互いに利用児さんの情報共有ができました。 ・行事の際の利用の仕方など一緒に連携を取りながら進めることができました。 ・担当者会議では積極的に保育所等側から参加していただき様々な関係機関と連携が取れたと思います。 	繋がりができた保育所等の先生方や職員の方々の異動があったとしても変わらぬ連携体制を維持する為、今後も担当者会議や保育所等訪問支援を活用しながら顔の見える関係作りに取り組んでいます。
2	職員同士で連携しチームで情報共有しながら支援を行なっています。	毎日の終礼時に各クラスで振り返りを行ないながら、具体的に場面を共有し、関わりについて意見交換しています。次回来所時にどのようなアプローチが適切なのかある程度、設定した環境の中で支援を行なっています。	更に具体的に支援について深掘りし、子ども一人一人の1年後の姿を職員同士で共有しながらその姿に向かって専門性を持った質の高い支援を行なっています。
3	満足度の評価が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の様子を毎回コドモンにて配信しています。子ども達がなかよしひろばでどのように過ごしているのか保護者様に伝わりやすくしています。 ・安心できる場所で過ごせるように初めは個別の関わりを大切にしています。慣れてくると大人を軸に友だちとの関わりを作り友だちと一緒に遊んで楽しかった経験を積んでいます。 	すべての子どもさんが幸せに過ごせるように個別に配慮しながら保護者の想いも汲み取り、寄り添った関わりを行なっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流がほとんど行われていなかった。	併行通園している児童が多い為、地域交流の必要性に気付かなかった。 未就園児は隣のこども園の園庭で遊んだりする機会を設けていたが地域交流する機会を設けなかった。	地域交流のために、地域の方を招くようなイベントや昔の遊び（メンコ・けん玉・竹馬など）を披露してもらう機会を作りたいと思います。
2	各マニュアルが保護者に周知されていなかった。	コドモンの活用が十分に出来ていなかった。各種マニュアルを掲載しても保護者が閲覧できていない状況だったことに気付いていなかった。	保護者にマニュアルの掲載をしていることを周知し、閲覧できない場合や操作方法が解らない方には丁寧に丁寧に対応していく。また保護者が見て解りやすいようにマニュアルの見直しも行なっていく。
3			